



未来へつなぐ調布の環境

2019年3月
第37号

刊行物登録番号
2018-231

●発行：調布市環境部環境政策課

●連絡先：電話：042-481-7086（直通） F A X：042-481-7550

メールアドレス：kankyouto@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（「まちづくり・環境」からご覧ください）。

目次

お知らせ

- 壁面緑化を始めませんか 1

活動報告

- 調布市環境モニターの活動 2
- 調布こどもエコクラブの活動 2
- 雑木林ボランティア講座の活動 3
- 調布水辺の楽校の活動 3

イベント情報・会員等募集

- 多摩川クリーン作戦を開催 4
- 平成31年度受講生・会員募集 4
 - ①雑木林ボランティア講座
 - ②調布市環境モニター
 - ③調布こどもエコクラブ

壁面緑化を始めませんか

お知らせ

「緑のカーテン」、「グリーンカーテン」などとも言われる壁面緑化は建物の外壁や窓の外側をゴーヤやアサガオなどの緑で覆うことをいいます。

この壁面緑化は、夏の日射しを建物の外側でスタレのように遮って、熱の透過を弱める働きがあり、室内の気温を下げることができ、節電につながります。去年は、児童館や図書館など13の公共施設でグリーンカーテンを設置しました。この夏に向けて、壁面緑化を始めませんか。

市のホームページから「ゴーヤでつくろう緑のカーテン」のパンフレットをダウンロードできます。また、環境政策課の窓口でも、パンフレットを無料で配布しています。

2019年6月1日（土）に開催予定の環境フェアにおいて、ゴーヤ等の苗配布を予定しています。詳細は市報5月20日号をご覧ください。



“ゴヤたん”



グリーンカーテン



“完熟ゴヤたん”

調布市地球温暖化啓発キャラクター：ゴヤたん

「調布市地球温暖化啓発キャラクター：ゴヤたん」のフェルト人形を製作しました。製作協力は、特定非営利活動法人リフレッシュ工房です。環境配慮の観点から、人形の本体に発砲スチロール等のプラスチックを使用せず、また、接着剤も使用していない、羊毛フェルトでできた人形です。環境政策課の窓口飾っています。



調布市地球温暖化啓発キャラクター
ゴヤたん

調布市環境モニターの活動

活動報告

調布市環境モニターは、植物を中心に調布の地形、鳥、昆虫など観察・調査し、市民と市が協働で調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てていくためのグループです（参加者随時募集中）。

第3回 深大寺自然広場周辺の植物観察

10月14日（日）に、地域の自然や歴史に詳しいサポーターを講師とした、調布の崖線や湧水などについての講義と、深大寺自然広場周辺の植物観察を行いました。

通常の定点観察ポイントでは見られない植物や、崖線の自然環境を観察しました。

観察した主な植物

自然広場周辺 イヌザクラ、カントウヨメナ、クワ、ススキ、スタジイ、トウネズミモチ、ハキダメギク、ヒイラギ、ホトトギス（台湾ホトトギス）、ムクノキ
野草園内 アケビ、キツネノカミソリ、コセンダングサ、サネカツラ、サルナシ、サンキライ（サルトリイバラ）、トリカブト、メハジキ、ヤマハッカ

調布そぞろ歩き

11月17日（土）に仙川周辺の緑地を観察する調布そぞろ歩きを実施し、一般参加者を含む15名が参加しました。

当日はサポーターが、仙川の崖線緑地を中心に案内し、一般参加者も当地の植物について興味を持たれた様子でした。



当日活動の様子

第4回 多摩川河川敷の鳥類観察

1月26日（土）に鳥類に詳しいサポーターを講師とした、多摩川河川敷に飛来する鳥類観察を行いました。

観察終了後には、鳥類図鑑等を使用し、観察した鳥類の確認を行いました。

観察した鳥類

オオバン、オカヨシガモ、カイツブリ、カワウ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、コガモ、コサギ、セグロカモメ、ダイサギ、タヒバリ、ドバト、トビ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、ヒヨドリ、ムクドリ、モズ、ユリカモメ（19種）

調布こどもエコクラブの活動

活動報告

調布こどもエコクラブは、河川や緑地等の自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。平成30年度は市内の小中学生24人の子どもたちが会員として活動しています。（参加者随時募集中）

第5回 体験しながら水の性質を調べよう

10月6日（土）に、多摩川自然情報館ふれあいの家で水の性質を調べる体験プログラムを実施しました。

当日は、講師をお招きし、サイコロを使った水の循環を体験するプログラムや、体の中の水の量を体験するプログラムなどを通して、水の様々な性質を学びました。



当日活動の様子

第6回 デイキャンプ（炭焼き体験、どんぐりのクラフト）

11月23日（金・祝）にカニ山キャンプ場において、「デイキャンプ（炭焼き・クラフト体験）」を実施しました。

サポーターの指導のもと、松ぼっくりなどの自然の材料を使用した炭焼きを行いました。

また、炭焼きをしている間は、どんぐりを動物に見立てたペインティングを行いました。



当日活動の様子

雑木林ボランティア講座の活動

活動報告

調布に今も残る里山の風景や雑木林を市民との協働で保全していくため、雑木林ボランティア講座を実施しています。

第3回 雑木林の生態系（生き物・むし編）

9月22日（土）、深大寺自然広場とカニ山で、雑木林とは一体どんな場所のことなのか、講義では土から樹木・生物までの生き物等の連鎖を学び、フィールドでは普段見過ごしてしまう昆虫なども見つけることができました。



第4回 雑木林の生態系（植物編）

10月20日（土）、入間樹林地で樹林の見方・植物のかたまり・樹林の高さの目測方法などについて実習を行い、講師の作成した調査票を基に、受講者全員で樹林の植物構成の調査を行いました。



第5回 市内樹林地見学バスツアー・ワークショップ

11月10日（土）、午前中は市内の樹林地をバスで巡り、各樹林地で環境保全活動を行う市民団体から活動の様子などの説明を聞きました。午後は、今までの講座を踏まえた「講座全体のふりかえり」、「今後の活動について」等をテーマにワークショップを行いました。



第6回 雑木林の恵みを体験・花炭作り

12月8日（土）、講師と共にカニ山を散策しながら、その生い立ちを受講した後、草刈り等の実践を行いました。その後はカニ山キャンプ場で火熾しを行う際の枝の組み方や順序などの講義を受け、グループに分かれ実習を行い、熾した火で花炭等の作成を行いました。



調布水辺の楽校の活動

活動報告

調布水辺の楽校は、多摩川をフィールドに、子どもたちと保護者が川に親しむ自然体験活動です。市民・行政・教育団体等が一丸となって支援するとともに、世代を超えた交流を図っています。

第2回 多摩川クリーン作戦と昆虫観察

11月3日（土・祝）に多摩川河川敷で、「多摩川クリーン作戦」を開催し、市内小学校の児童とその保護者計63人が参加しました。

当日は、多摩川河川敷において講師の解説を聞き、昆虫観察や、バッタ採りを行いました。その後、布田小学校へ戻る間



に、ごみ拾いをしました。当日は好天に恵まれ、楽しく活動できました。

観察した昆虫類

- 蝶類 タテハチョウの仲間、モンキチョウ、ヤマトシジミ
- トンボ類 アキアカネ、サナエトンボの仲間
- バッタ類 オオカマキリ、オンブバッタ、キリギリス、クサキリ、クビキリギス、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、トノサマバッタ、ハネナガイナゴ
- ヨコバイ類 オオヨコバイ

第3回 多摩川バードウォッチング

1月19日（土）に多摩川河川敷の二ヶ領上河原堰辺りにて「多摩川バードウォッチング」を開催し、市内小学校の児童とその保護者計37人が参加しました。

当日は、35種の鳥を観察することができ、楽しみながら観察できました。



観察した野鳥

- アオサギ、イソシギ、オオバン、オカヨシガモ、オナガガモ、カイツブリ、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラバト（ドバト）、カワラヒワ、キジバト、キンクロハジロ、コガモ、コゲラ、コサギ、シジュウカラ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、ダイサギ、トビ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ヒドリガモ、ヒヨドリ、ホオジロ、マガモ、ムクドリ、メジロ、ユリカモメ、ヨシガモ（35種）



多摩川クリーン作戦を開催

問合せ先/環境政策課生活環境係
042-481-7087

イベント情報

多くの皆様のご協力により、毎年春と秋に行う多摩川クリーン作戦も通算で78回目となります。

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」を平成10年4月に施行し、多摩川の河川敷を「美化推進重点地区」に指定しています。河川の環境を守り美化を推進するため、皆さん是非多摩川クリーン作戦にご参加ください。当日は、動きやすい服装でお越しください。清掃用具は市で用意します。

- 1 日時/平成31年4月14日(日)
午前8時~午前9時(小雨決行)
- 2 集合場所/
○団体参加
多摩川河川敷の各拠点(のぼり旗で表示)
○個人参加
京王相模原線鉄橋下の本部(当日直接会場へ)
- 3 持ち物/軍手(お持ちの方)

平成31(2019)年度受講生・会員募集

【①~③の申込みについて】

申込みはいずれも平成31年4月8日(月)から受付します。①の申込み期限は平成31年5月17日(金)まで、②③は定員になり次第、申込み終了となります。メール・FAXでの申込みは、事業名、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、③は保護者名、参加する子どもの学校名、学年も明記してください。

申込み・問合せ先/環境政策課環境保全係

電話:042-481-7086 FAX:042-481-7550 メール:kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

① 雑木林ボランティア講座

調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民と市が協働で保全していくためのボランティア養成講座です。

雑木林の理解と、市内の雑木林の維持管理に役立つ知識と技能を習得します。

- 1 日程/年6回(5~1月予定)、午前10時~午後3時(予定)、午前:室内講義、午後:野外実習
※日程等はやむをえず変更する場合があります。
- 2 対象/18歳以上の方
- 3 定員/申込み順20人
- 4 受講料/1,500円(予定)
(ボランティア保険料・テキスト代 ※全6回分)
- 5 企画・運営/ちょうふ環境市民会議



② 調布市環境モニター

市民と市が協働で調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てて行くことを目的としたグループ活動です。

調布の植物、鳥、昆虫などを講師や市民サポーターの案内で定期的に観察し記録・調査を行います。

- 1 日程/年5回程度
※原則土曜日の午前中に実施予定
- 2 対象/18歳以上の方
- 3 定員/申込み順30人
- 4 費用/無料



③ 調布こどもエコクラブ

河川や緑地等で自然体験を通じて環境について学ぶ、子どもたちの環境クラブです。

- 1 日程/年7回程度 ※土・日・祝日に実施予定
- 2 対象/市内在住、在学の小学1年生~中学3年生
※小学3年生以下は要保護者同伴
- 3 定員/申込み順60人
- 4 費用/原則無料
(内容によって材料費等の実費負担あり)



【参考】前年度の事業内容

- ①6月 自然観察と紙すき体験(神代植物公園植物多様性センター)
- ②8月 押し花・しおり作り体験(多摩川自然情報館)
- ③9月 干潟の生きもの調査(大師河原水防センター)
*市外バスツアー
- ④9月 野川の水辺ガサガサ(野川)
- ⑤10月 体験しながら水の性質を調べよう(多摩川自然情報館)
- ⑥11月 炭焼き体験、どんぐりクラフト(カニ山キャンプ場)
- ⑦3月 海苔つけ体験(大森海苔のふるさと館)
*市外バスツアー

※平成31年度の事業内容は、調布こどもエコクラブに会員登録された方にお知らせします。

